

Gastro-Health Now

NPO法人

日本胃がん予知・診断・治療研究機構

Certified Non Profitable Organization
Japan Research Foundation of Prediction,
Diagnosis and Therapy for Gastric Cancer (JRF PDT GC)

目次

- ◆ピロリ菌除菌は早期から胃がん死亡を減らす——
国レベルで初めて“短期効果”を示した研究…… 1
- ◆あとがき・お知らせ…………… 4

印刷 日本データ・サブライ(株)03-3918-6111

発行所 NPO法人

日本胃がん予知・診断・治療研究機構

〒108-0072

東京都港区白金1丁目17番2号

白金タワーデラス棟 609号室

電話 03-3448-1077

FAX 03-3448-1078

E-mail: info@gastro-health-now.org

http://www.gastro-health-now.org

2026.08.31

第112号

ピロリ菌除菌は 早期から胃がん死亡を減らす—— 国レベルで初めて“短期効果”を示した研究

はじめに

日本では2013年に慢性胃炎へのピロリ菌除菌治療が保険適用となり、除菌治療を受ける人が急増しました。しかし、「除菌の効果が現れるまでには長い時間が必要なのではないか」という疑問が残っていました。

実際、除菌治療が日本の胃がん死亡にどれほど早期に影響を与えているかは、これまで明らかではありませんでした。

今回の研究は、除菌治療が日本の胃がん死亡に対して早期にどれほど影響を与えたかを、国レベルで初めて評価したものです。¹⁾

除菌の短期効果をどう評価したか

除菌の短期効果を明らかにするために、2つの分析を組み合わせました。

① 反事実モデル

まず、2013年からのピロリ菌除菌が普及しなかった場合の日本を再構築し、そのときの胃がん死亡数を推計しました。図1は、「除菌が広がった世界」と「広がらなかった世界」の違いを示しています。

② 状態遷移モデル

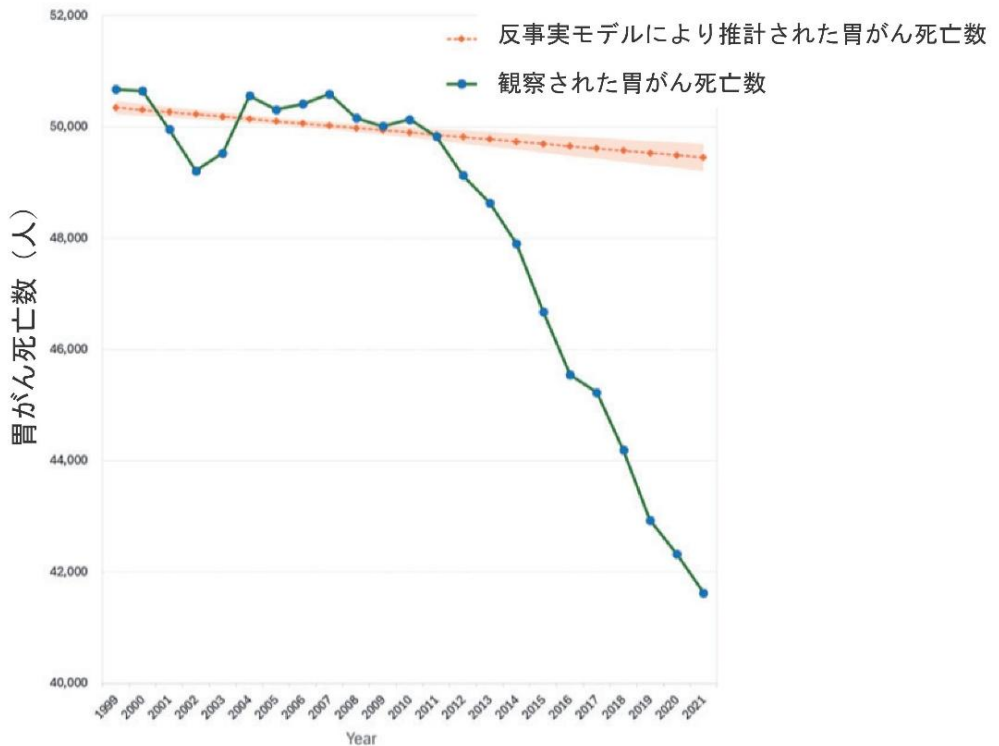
次に、短期効果を正しく評価するために、ピロリ菌感染率や年齢による胃がんリスクの違いを反映したモデル分析を行い、①で推計した胃がん死亡減少数のうち、どれだけが除菌による減少分なのかを求めました。その結果を示したのが図2です。



北海道医療大学客員教授
北里大学大学院医療系研究科

小和田 暁子

図 1 実際の胃がん死亡数とピロリ菌除菌が普及しなかった場合の推計値の比較 (文献1より翻訳・改変)



除菌治療の普及により、観察された胃がん死亡数は反事実モデルの推計値よりも大きく減少していた。

日本の胃がん死亡は 早期から減少していた

2013～2021年の間に、日本の胃がん死亡は大きく減少しました。

- 実際の死亡数：48,632 → 41,624
- 除菌が普及しなかった場合の死亡数：
49,779 → 49,453

この差は年々広がり、2021年には7,829人分の胃がん死亡減少が見られました。そのうち、除菌による胃がん死亡減少は2021年で1,604人、9年間の累計では、6,461人の胃がん死亡が除菌によって回避されていました。

さらに、年齢別の内訳を示した図3により、短期効果がどの年齢層で大きいかが明確になりました。

除菌治療が 国全体の胃がん死亡減少に寄与

本研究は、次の点を明確に示しています。

- ピロリ菌除菌は早期から胃がん死亡を確実に減らす。

- 日本の胃がん死亡減少の背景には、除菌治療の普及が大きく寄与していた。
- 胃がん一次予防であるピロリ菌除菌を中心に据えた政策は重要である。

除菌治療の普及は、国全体の胃がん死亡を着実に減らしており、臨床での取り組みが確かな成果につながっています。

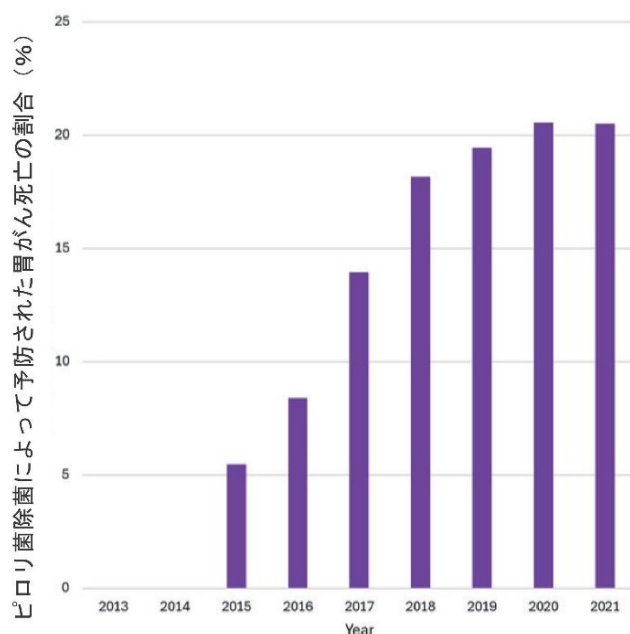
誰一人も胃がんで 亡くならない世界をめざして

これまでピロリ菌除菌が長期的に全世代で胃がん発症と死亡を大幅に減らすことがわかっていましたが、²⁾ この研究により、除菌は短期間でも胃がん死亡を減らす即効性のある一次予防であることが明らかになりました。

今後の胃がん政策では、胃がんから命を救うために、若年層から高齢者まで幅広く検診・除菌をよりいっそう推進することが強く求められています。

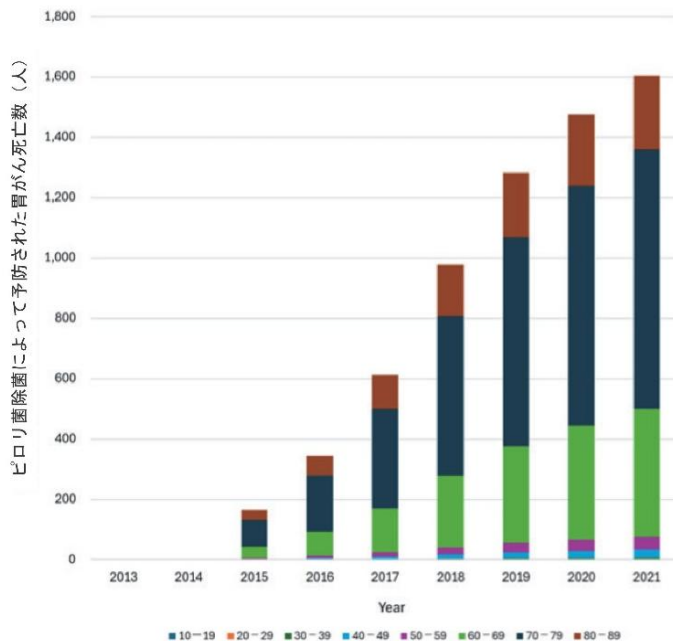


図2 ピロリ菌除菌によって予防された胃癌死亡の割合（文献1より翻訳・改変）



除菌の寄与は年々増加し、2020年以降は約20%の死亡が除菌により回避されていた。

図3 ピロリ菌除菌によって予防された胃癌死亡数の年齢別内訳（文献1より翻訳・改変）



短期効果は60～79歳で最も大きく、胃癌死亡の減少に寄与していた。

文 献

- 1) Kowada A. Early population-level impact of *Helicobacter pylori* eradication on gastric cancer mortality in Japan: a counterfactual analysis of short-term divergence. *Popul Health Metr.* 2026;24(1):41.

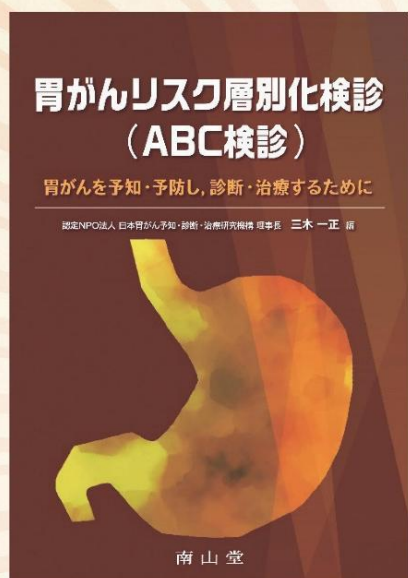
- 2) Kowada A, Asaka M. Economic and health impacts of introducing *Helicobacter pylori* eradication strategy into national gastric cancer policy in Japan: A cost-effectiveness analysis. *Helicobacter.* 2021;26(5): e12837.

あとがき 本112号は、北海道医療大学客員教授 北里大学大学院医療系研究科 小和田 暁子先生によるピロリ菌除菌戦略をテーマとしたGHN77号(2022年2月1日)、78号(2022年3月15日)、92号(2023年5月28日)、102号(2024年9月15日)に続き、「ピロリ菌除菌は早期から胃がん死亡を減らす― 国レベルで初めて“短期効果”を示した研究」と題したご寄稿です。Population Health Metrics (Springer Nature)に出版された、5年間の研究成果のご報告要旨で、2013年からのピロリ菌除菌政策により、胃がん死亡の減少効果が早期から生じていることを、除菌の短期効果を明らかにするために、「反事実モデル」および「状態遷移モデル」(マルコフモデル)の2つの分析を用いて示されたご研究です。「除菌治療の普及により、観察された胃がん死亡数は反事実モデルの推計値よりも大きく減少していた」こと、「除菌の寄与は年々増加し、2020年以降は約20%の死亡が除菌により回避されていた」こと、そして、2013~2021年の9年間の累計では、6,461人の胃がん死亡が除菌によって回避され、年齢的内訳では、「短期効果は60~79歳で最も大きく胃がん死亡の減少に寄与していた」との結論です。

ピロリ菌除菌が、除菌政策開始後早期から胃がん死亡数減少にどのように有効であったかを、独自の視点で、高度な数学的モデル分析を駆使し、客観的に明らかにされた貴重なご研究に敬意を表し、GHN読者を代表し、この度のご寄稿に深謝申し上げますとともに、小和田先生の今後益々の御発展、御活躍を、心より祈念いたします。(M)

「胃がんリスク層別化検診 (ABC 検診)」

～胃がんを予知・予防し、診断・治療するために～



胃がんリスク層別化検診 (ABC検診)

胃がんを予知・予防し、診断・治療するために

認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長 三木 一正 編

南山堂

南山堂

定価：(本体 2,600 円+税)

編集：三木一正

認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構理事長

「胃がんリスク検診 (ABC 検診) マニュアル (改訂 2 版)」の改訂 3 版に位置づけられる書籍。

多くの新たな執筆者を迎え、再編成。

AI の検診領域における活用など。グローバル化に対応した各項目のタイトル、著者、所属名、および要旨の英訳あり。ラテックスキットは実際に使用可能であり、その有用性を報告。

【主な内容】

- ・胃がんリスク層別化検診 (ABC 検診) の運用の手引き
- 第 1 章「胃がんリスク層別化検査と胃がん発生のメカニズム」
- 第 2 章「胃がんおよびピロリ菌 (感染) の疫学」
- 第 3 章「胃がんリスク層別化検診およびピロリ菌除菌による胃がん予防」
- 第 4 章「胃がんリスク層別化検査と検診」
- 第 5 章「胃がん内視鏡検診診断および人工知能 (AI) の活用」
- 第 6 章「胃がんリスク層別化検査の実施法」
- 第 7 章「食道がん検診対策」(リスク評価)
- 第 8 章「JED, Q&A」
- ・胃がんリスク層別化検査・自治体実施状況
- ・English Summary Table of Contents

【執筆者一覧 (執筆順)】 三木一正、兒玉雅明、村上和成、畠山昌則、安川佳美、牛島俊和、伊藤公訓、渡邊能行、津金昌一郎、菊地正悟、山岡吉生、浅香正博、高橋信一、間部克裕、片野田耕太、齋藤翔太、飯田真大、二宮利治、奥田真珠美、福田能啓、垣内俊彦、赤松泰次、池田文恵、島津太一、水野成人、角田 徹、鳥居 明、関 盛仁、永田靖彦、松岡幹雄、水野靖大、木村秀和、関 勝廣、小田島慎也、河合 隆、井口幹崇、濱島ちさと、小林正夫、本田徹郎、乾 正幸、加藤元嗣、権頭健太、山道信毅、加藤元彦、中山敦史、平澤俊明、上山浩也、永原章仁、田中聖人、多田智裕、藤城光弘、矢作直久、辻 陽介、鷲尾真理愛、比企直樹、大隅寛木、望月 暁、高橋 悠、青山伸郎、伊藤史子、大和田 進、横山 顕、保坂浩子、草野元康、笹島雅彦